

平成28年度わがまち元気プロジェクト第1弾決定！

地域固有の資源を活用し、個性豊かで活力ある地域づくりを推進する「わがまち元気プロジェクト」について、新たに下記プロジェクトへの支援を決定しました。

プロジェクト名	いなみの魅力発信！『地産外商』プロジェクト
事業実施主体	印南町、印南町産業振興協議会
全体事業費	20,080千円(うちわがまち元気プロジェクト支援事業5,000千円)

※わがまち元気プロジェクトとは…

地域活性化を図るため、地域固有の資源を活用した新たな産業づくりや、スポーツを核とした町づくりに取り組む市町村を、プロジェクト計画に基づいて、県が総合的に支援する事業。平成21年度から取組を開始。

【参考】 わがまち元気プロジェクト 取組一覧

年度	プロジェクト数
21	6
22	3
23	1
24	1
25	1
26	3
27	2
28	1
合計	18

◎今回の1件を入れると合計は18件になります。

担当	企画部 地域政策課 地域支援班 西田・藤木 TEL：073-441-2371
----	---

いなみの魅力発信！『地産外商』プロジェクト

- 1 事業主体 印南町、印南町産業振興協議会
- 2 全体事業費 20,080千円（うち元氣プロ5,000千円）
- 3 目的

ミニトマトやうすいえんどうなどの知名度の高い農産物と共に売り出す食の加工品開発をすすめる。併せて、SA（サービスエリア）とネットを通じて「地産外商」を展開し、情報発信することで「いなみの食」のブランド形成を図る。

4 3つの柱による取組

(1)新商品開発とパッケージ化 【12,350千円】(うち元氣プロ2,850千円)

①「いなみの食」加工開発プロジェクト

- ・印南町で受け継がれてきた伝統食や未活用食材を活かし、新たな加工品を開発
 - ◇混ぜご飯の素…焼きサバ、地元野菜などの調理済具材パック
 - ◇ドライミニトマト…市場に出回らない未活用トマトを乾燥加工
 - ◇菊芋チップスなど…血糖値を上げない糖質イヌリンを多く含む



《印南町の伝統料理 混ぜご飯》

②「いなみの食」のパッケージ化

- ・めざし、うつぼなど町の特産水産物を消費者が買い求めやすい形（常温保存・簡単調理等）に加工し、販売商品を充実
- ・知名度の高い農産物と新商品を組み合わせた商品を販売（例：いなみまるごと詰め合わせ春夏秋冬セット等）
- ・商品のパッケージデザインやレシピ、素材の組み合わせ方について、外部専門家の意見を盛り込み商品開発し、「いなみの食」をPR



(2)いなみを売り出す！プロモーション強化 【3,720千円】(うち元氣プロ 2,150千円)

①「印南SAを町の顔に！」印南SAを核にしたプロモーション

- ・印南SAにおいて、開発商品の常設売り場を設置
- ・試食販売を実施し、売れ筋商品の定番化でリピーター獲得を目指す
- ・SA内にイベント告知スペースを設け、「いなみの食」と町の情報を常時発信

②「地産外商」に向けた県外プロモーション

- ・生産現場の“生の声”と“物語”を伝える販売商品パンフレットを作成
- ・県主催の大阪商談会や京阪神方面のイベント出店など県外向けプロモーション活動を実施
- ・新商品を「ふるさと納税返礼品」として活用することで、印南町をPR
- ・いなみの魅力を紹介するウェブサイトを開設し、情報発信

(3)いなみの魅力の伝承と普及 【4,010千円】(うち元氣プロ 0千円)

①「キリトル！印南」プロジェクト

- ・印南町の魅力ある光景を撮った（＝切り取った）写真の投稿を年間通じて募集
- ・中学生や大学生等、町民による実行委員会を組織し写真を選定
- ・実行委員会による聞き書き活動を実施し、地域の知恵や文化の魅力を発掘
- ・投稿写真でチラシを作成し、毎月全戸配付すると共に町内主要施設やSAで掲示
- ・写真と聞き書き記録を町政60周年記念誌として編集し、地域の財産として伝承

②食文化の普及・食育推進

- ・新商品を学校での調理実習や学校給食メニューとして活用
- ・町民向けの料理教室や町内宿泊施設等でのメニュー提供を実施

5 目標

	平成27年度		平成32年度
新商品開発数	0商品	→	8商品
ふるさと納税返礼品登録件数	9件	→	15件
印南SA購買者数	35万人	→	50万人